

(北海道 幌延町)

# 問寒別地区における 地域づくりの取組紹介

---

令和7年11月3日(月)

といかん・ふるさと同窓会 in 東京 資料

－ 幌延町 住民生活課(地域対策) 山下 智 昭 －

# 幌延町と問寒別地区のご紹介

## 【基本情報】

- ・国調人口：2,371人（2020）
- ・住基人口：2,013人（25.8末）
- ・世帯数：1,180人（住基同月末）
- ・高齢化率：32.2%（649人）
- ・面積：574.10km<sup>2</sup>
- ・基幹産業：酪農業

稚内市（てっぺん）

宗谷本線

旭川市

札幌市

幌延町

幌延周辺集落  
301人

幌延市街地  
1,768人  
※2020国調

幌延市街地（本町）

豊富町

天塩町

幌延市街地  
⇄ 問寒別市街地  
・車：30分（25km）  
・鉄道：30分（普通3往復）

字上問寒

字中問寒

問寒別地区  
302人

字雄興

字問寒別  
問寒別市街地

猿払村

中頓別

中川町

町出張所（生涯学習セ）、消防分遣所、小中学校、保育所、商店1、郵便局、農協支所、PG場、GS、公住、JR駅

面積 幌延地区272km<sup>2</sup>：問寒別地区302km<sup>2</sup>

地域運営組織モデル形成地区「問寒別地区」

# 幌延町・地域コミュニティ形成事業 目標

## 1. 事業目標

### (1) 地域の現状と課題

人口減少、少子高齢化、小家族化で、地域・集落の活力や担い手が不足し、住み続けることに難しさを感じるなど、生活していく上で必要な機能が失われつつある

### (2) 地域課題への解決

地域活動、日常生活等支援の拠点と仕組みづくり

- ①「小さな拠点」設置  
(集落支援センター(仮))
  - ・支援の拠点施設
- ②「地域運営組織」形成
  - ・拠点の運営主体

### (3) 地域の目指す姿

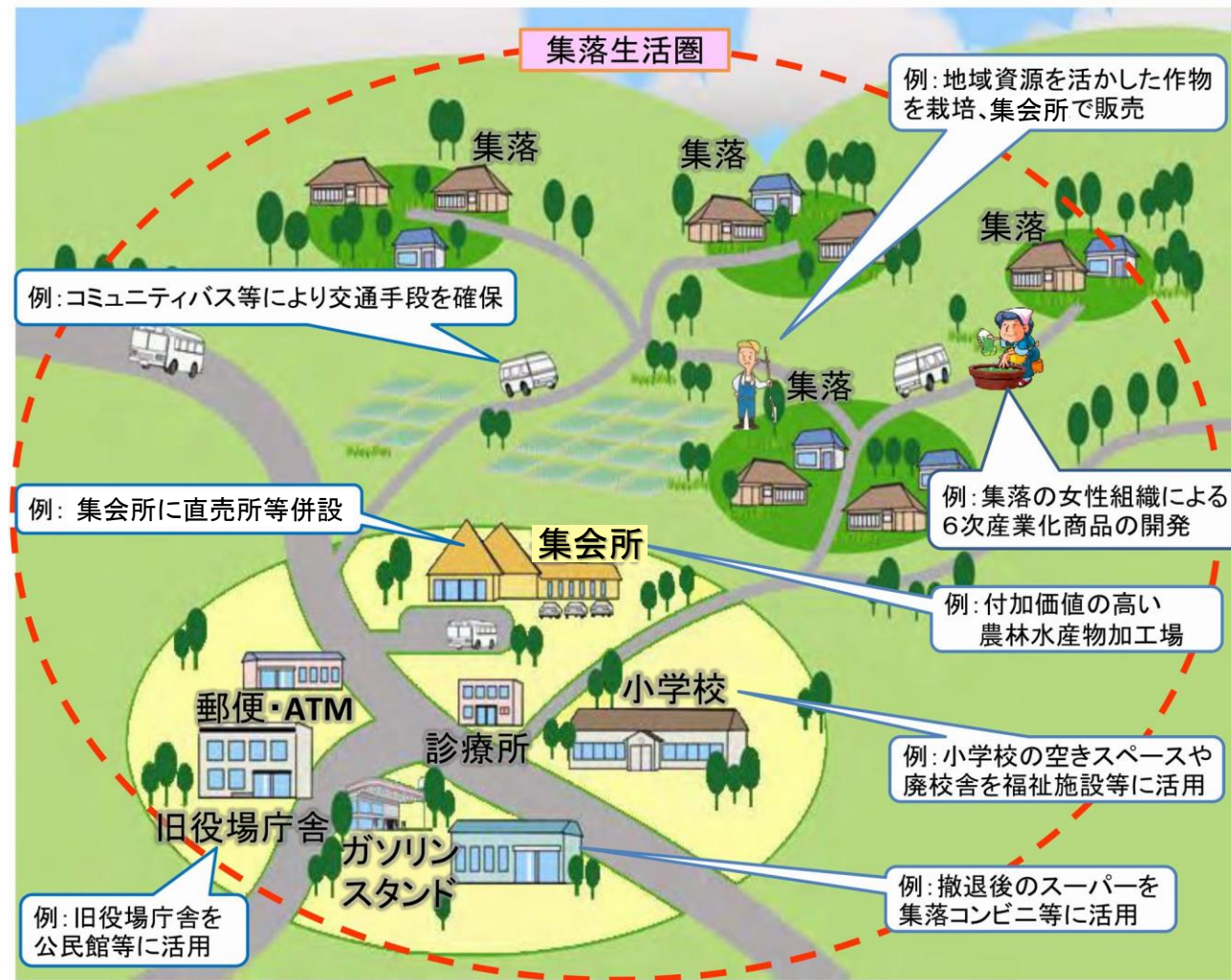
《持続可能な地域集落》

だれもがいつまでも  
暮らし続けられる地域集落

## 「①小さな拠点(集落支援センター(仮))」と「②地域運営組織」

基幹集落と周辺集落で構成される集落生活圏において、安心して暮らしていくために必要な機能を持続的に提供する仕組みが「①小さな拠点(集落支援センター(仮))」で、その運営主体が「②地域運営組織」です。

「②地域運営組織」は、地域住民が中心となり、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた運営方針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織です。



# 幌延町・地域コミュニティ形成事業（モデル問寒別地区）

## 集落の現状と課題

人口減少、少子高齢化、小家族化などにより、集落の活力や担い手が不足し、生活する上での必要な機能が失われつつある

問寒別地区	S30	S35	S55	H7	H22	R2	R12	R22
世帯数	519	520	336	188	165	151	-	-
人口	2,856	2,584	869	542	390	303	268	233

## 目標

**目指すもの：持続可能な地域集落**

いつまでも暮らし続けられる地域集落づくり

**実現への方策：「小さな拠点」形成と「公共私連携」**

- ①集落支援センター：地域が真に望む機能の提供拠点
- ②地域運営組織(NPO法人)：集落支援センター運営主体

## あゆみ

年	取組概要	内容	体制	国道等支援
R1	集落対策取組開始	地域連携・課題把握	企画政策課：1名 集落支援員：3名	・道交付金
R2	実験的取組開始	協力隊（1期）導入 地域交通実験、住民ヒア	企画政策課：2名 集落支援員：3名 協力隊：2名	・道交付金 ・過疎交付金
R3	基礎調査収集分析	役場業務等棚卸し調査 事業者団体ヒア、暮らし応援隊実験、 住民懇談会開始	企画政策課：2名 集落支援員：3名 協力隊：1名	・道交付金 ・過疎交付金
R4	本格懇談・ビジョン策定	道総研（北総研）研究協力契約 地域づくり基本構想策定 地域づくりビジョン策定	企画政策課：4名 集落支援員：2名 協力隊：1名	・地域振興派遣1名 ・道総研研究協力契約
R5	ビジョン推進・組織準備形成	小規模多機能自治講演会 先進地視察（島根雲南市） 協力隊（2期）、組織設立準備会	住民生活課：4名 集落支援員：3名 協力隊：2名	同上
R6	組織創業・支援体制整備	NPO法人設立（4/16）、道認証（6/13）、登記（7/1）、地域活動実験拠点改修	住民生活課：4名 集落支援員：5名 協力隊：2名	・同上 ・過疎交付金
R7	組織運営・支援継続	条例等制定、協定、一括交付金・各種補助制度創設	住民生活課：3名 集落支援員：3名 協力隊：2名	・同上 ・過疎交付金

## 組織のしくみと活動内容・支援体制

### ●地域運営組織イメージ

《地域活動や日常生活を支える活動を行います》

地域おこし協力隊（実働）



お給料をもらって  
専属で地域活動を行うことで  
地域の負担を軽減します

盆踊り  
やるぞー！  
掃除  
するぞー！

住民も今までどおり  
お手伝いします

地域



オーツ！

一部利用料



地域サービス提供

～ 例えば、こんな地域活動を行います ～

- ①住み続け支援：デマンド交通、草刈り、除雪など
- ②公共空間等管理：公共施設、公園などの草刈りや除雪、インフラ管理等
- ③交流教育：団体活動・地域行事支援、サロン見守り、果樹園、といかん市等
- ④民間事業支援：地域のしごと支援のしくみ

（町支援）

- 地域運営組織運営支援（R6～）  
・町交付金補助金、業務委託、協力隊配置、支援のしくみづくり（条例等）
- 地域運営本格拠点検討整備（R7～）



みなさんが、地域ですっと住み続けていくために必要な機能を  
地域のお仕事として地域で運営(経営)していくことです

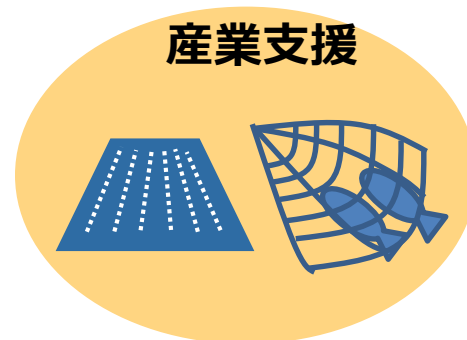
## 拠点運営



## 移動



## 産業支援



## インフラ・施設維持管理



## 災害対応



## 不定期のお仕事



**「地域運営組織」は、地域運営を考えて実践する組織です**

- 地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域運営方針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織です。
- 地域運営組織の形態は、協議機能と実行機能を同一の組織が合わせ持つもの(一体型)や、協議機能を持つ組織から実行機能を切り離して別組織を形成しつつ、相互に連携しているもの(分離型)など、地域の実情に応じて様々なものがあります。

# 幌延町・地域コミュニティ形成事業 これからのまちづくりの姿

問寒別地区・地域づくりビジョンでは、これからの地域活動の担い手として、「地域」・「役場(行政)」・「地域運営組織」の3者による連携・協働を掲げています。

## 【これまでの地域活動のしくみ】

地域の維持に必要な地域活動や日常生活活動は、主に「地域」と「役場」で担ってきました。

## 【地域の現状】

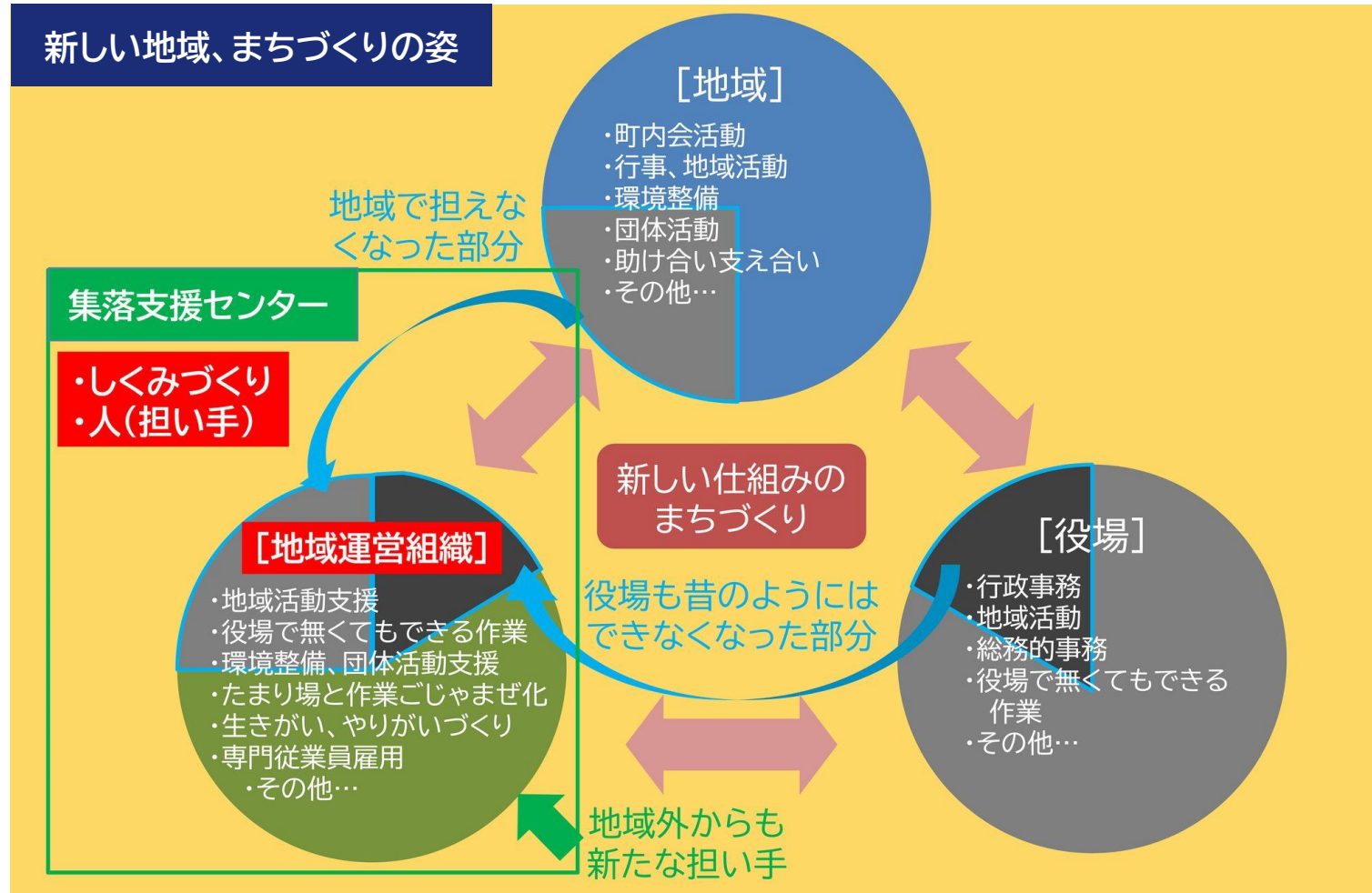
しかしながら、人口減少、少子高齢化、小家族化などで「地域」もこれまでのように地域活動が担えなくなりました。

## 【役場の現状】

役場も人員減や行政事務の複雑多様化で事務量が増え地域活動をこれまでどおりサポートできなくなりました。

## 【新しい地域のしくみ】

「地域」と「役場」の担えなくなった部分を、**地域活動を専属で担うスタッフがいる「地域運営組織」**という新たな地域のしくみで地域を維持していきます。



# 問寒別地区・地域運営組織（NPO法人）の地域活動としくみ

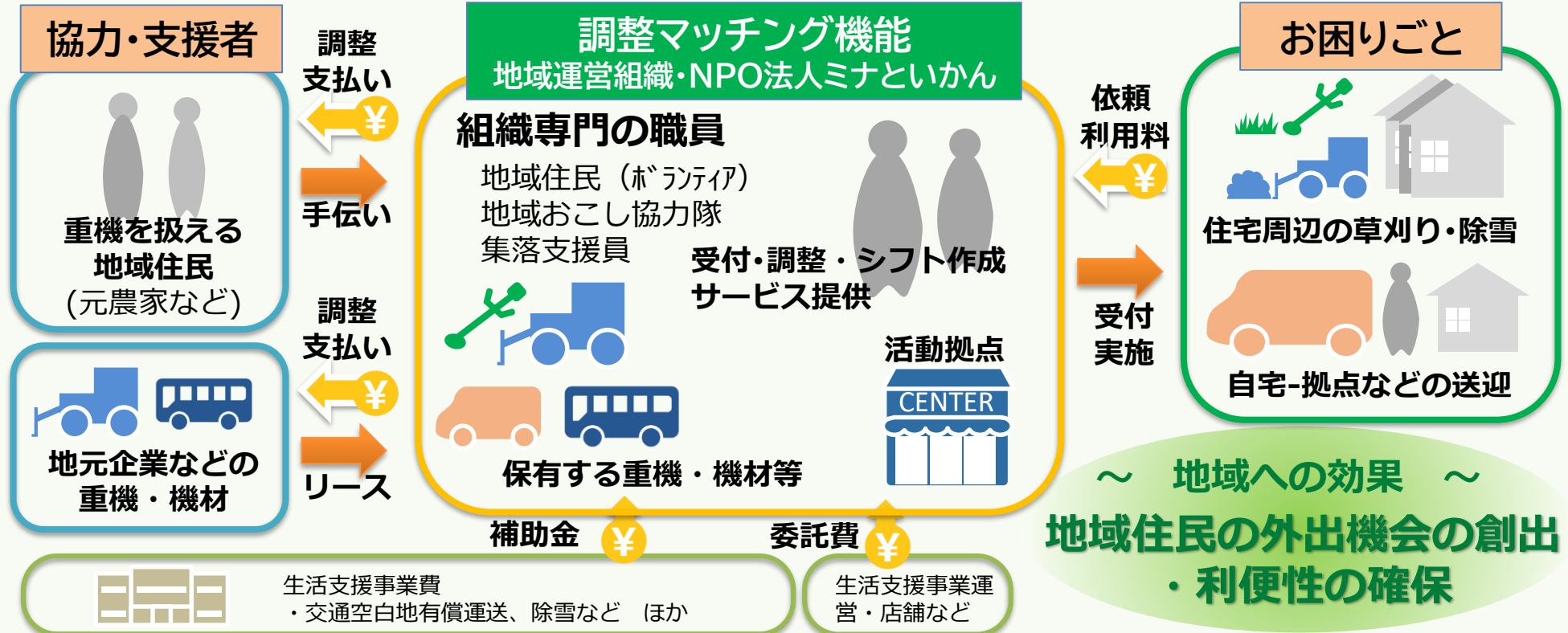
すぐに  
取り組む

時間  
を  
かけ  
取り  
組む

- ① **住み続け支援**：地域交通、日常生活の支援などのしくみ
- ② **公共空間の管理**：地域の施設などの管理のしくみ
- ③ **交流・教育**：地域行事、団体活動支援、地域自主活動などのしくみ
- ④ **民間事業支援**：地域のしごと支援のしくみ

たとえば…、「①住み続け支援」とは次のような活動です

○地域運営組織の専属職員や地域のボランティアが、自前や業者から借りた機材を使って、住み続けるために必要な生活の足（地域交通）、草刈り、除雪サービスなどを行います。サービスを受けた住民は利用料を払います。



地域運営システム：上記のマッチングによる支えいのしくみを簡素化省力化するためのしくみづくりを目指します

# 地域運営組織・NPO法人ミナといかん 概要



## 【特定非営利活動法人(NPO)法人ミナといかん】

○設立等	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和5年度：個別懇談会説明会5回、検討会2回、準備会5回</li><li>・令和6年4月16日：設立総会</li><li>・令和6年6月13日：北海道設立認証承認</li><li>・令和6年7月1日：法人登記</li></ul>
○名称	<p>「ミナといかん」：「ミナ」はアイヌ語で「笑う」の意味で、「といかん」は地域の呼び名です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「といかん」で「みんな」笑顔で暮らしていきたい</li><li>・「みなと」のように「みんな」が集まる地域や居場所になってほしい</li></ul>
○組織類型	問寒別地区・地域づくりビジョンに基づく地域運営組織をNPO法人の形態で運営します。
○目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域課題の解決に向けて具体的な取組を協議し、地域に必要とされる機能を提供します。</li><li>・地域の文化や歴史を守り、すべての人がいつまでも安心して健やかに住み続けられる地域づくりに貢献します。</li></ul>
○コンセプト	<p>これまで地域住民のボランティアで成り立っていた地域活動を、地域運営組織の専属職員が地域ボランティアの協力のもと、必要な取り組みを実践実行し、地域負担を軽減するNPO法人です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・専属職員が複数業務をマルチにこなしていきます。</li><li>・地域内外のいろいろな世代が活躍できる場を創出します。</li><li>・ボランティアの部分と対価の発生する部分を整理して、しっかり稼ぐしくみをつくります。</li><li>・皆が楽しいと思える運営を心がけます。</li></ul>
○会員	<p>正会員、賛助会員、その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・正会員：法人の目的に賛同する個人で、総会の議決権を持ちます。会費は年会費3,000円です。 (農村地区7人、市街地12人、幌延地区1人、計22人)</li><li>・賛助会員：法人の目的に賛同して事業を賛助する個人及び団体です。会費は年会費1口500円です。</li></ul>
○役員	<ul style="list-style-type: none"><li>・理事：4人（代表理事1人、副代表理事1人、理事2人）</li><li>・監事：2人</li></ul>



## 1. 問寒別モデルの推進

- いつまでも暮らし続けられる地域集落をつくる
- そのために支援拠点「集落支援センター」を設置すること
- 拠点（地域）運営主体「地域運営組織」の操業運営

### (1) 問寒別地区のまちづくり推進

#### ①地域運営組織の運営強化

- ・法人事務局機能体制整備、機能強化、安定的な運営体制構築
- ・人材獲得、育成、承継

#### ②町支援事業の整理

- ・条例等整備、一括交付金補助制度等による支援継続
- ・地域運営組織自立的運営体制構築支援：人材育成、財政支援、委託事業

#### ③支援拠点等施設整備

- ・地域活動実験拠点運営
- ・本格拠点に必要な「拠点」検討整理

#### ④住まいの確保

- ・移住住宅、住まい確保支援

### (2) 町内全体での展開

#### ①問寒別モデルの普及改良版を町内の集落生活圏で展開

# 持続可能な地域を目指す「地域運営組織」の町の支援のしくみについて

地域運営組織とは、地域の諸課題を地域住民が中心となり、地域の暮らしを守るための取組を協議して実行することで、持続可能な地域集落を形成する組織です。幌延町では、いつまでも暮らし続けられる地域集落づくりを目指して、地域運営組織を支援する取組を進めます。人口減少社会にあっても、地域全体で支え合う共助、協働の取組を進めていきましょう。

## 1. 幌延町地域運営組織に関する条例

条例は、地域運営組織と町の協働についての原則や役割を定め、地域運営組織の活動定着と活性化により、地域課題解決と安心して住み続けられる地域の実現を目指すことを目的としています。

主な内容	要件と役割	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自主・主体的に地域づくりに取り組む非営利団体</li><li>・ 小学校区単位で住民10人以上で構成する民主的組織</li><li>・ 地域づくりに積極的な地区全体を総合的に運営する組織</li></ul>
	登録 町の役割	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 原則、1地区に1つの組織を登録</li><li>・ 地域運営組織の地域づくり活動に必要な支援措置を講じる</li></ul>

## 2. 幌延町地域運営組織に関する条例施行規則

規則は、条例を施行するにあたって必要となる詳細事項を定めるもので、協働の原則、関係者の責務・役割、地域運営組織の登録制度における手順、支援施策など基本的事項を規定しています。

責 務	○地域運営組織：協定順守、地域づくり推進、情報公開
	○町：地域活動推進の総合的施策、支援措置、情報共有

## 3. 幌延町地域運営組織との協定の締結に関する要綱

登録された地域運営組織と町との協定として、地域運営組織で取り組む事業や町の一括交付金による財政支援などを定め、3年の基本協定書と1年の年度協定書を締結します。

- 基本協定書
  - ・ 必須事業、委託事業
  - ・ 一括交付金支援
  - ・ 年度協定締結
- 年度協定書
  - ・ 選択事業
  - ・ 人員配置
  - ・ 一括交付金額

## 4. 幌延町地域づくり活動等一括交付金交付要綱

地域運営組織への支援の一環として、運営費等を対象経費とする自由度が高く柔軟性のある一括交付金の算定基準などを定めた要綱です。

- 必須事業
  - ・ 地域運営管理
    - 管理費、事務費
  - ・ 地域運営事業
    - 地域づくり全般
- 選択事業
  - ・ 生涯学習事業
    - 生涯学習団体等への支援
  - ・ 地域福祉事業
    - 地域福祉、生活支援充実

## 5. 幌延町地域づくり人材等支援事業補助金交付要綱

地域運営組織の地域づくり活動を支援するため、主に人材等に要する次の経費を支援します。

- ① スタッフ募集、確保、人材育成、雇用等経費
- ② 地域住民などが地域の担い手となるために必要な研修会開催、受講、視察、伴走支援等経費
- ③ 地域づくり活動に必要な刈払機、建設機械、有償運送運転者講習等資格取得経費

5と6は、地域運営組織登録前でも一定の条件を満たす団体は対象となる場合があります。

## 6. 幌延町地域運営組織等事業推進補助金交付要綱

地域運営組織の事業を推進するため、主に人材等以外に要する次の経費を支援します。

- ① 国、道、民間団体からの補助金等を受けて実施する事業（町経由補助事業等）
- ② 施設及び設備整備経費
- ③ 機械、装置、車両、運搬具、工具、器具、備品及びソフトウェア整備経費
- ④ 地域づくりビジョン等策定（改正）経費

# 地域おこし協力隊人材獲得・定着に向けた といかん・ふるさと同窓会（仮称）による関係人口（ネットワーク）創出事業

## 1. 目的

問寒別地区の地域づくりを進める上で必要不可欠な地域の担い手獲得や関係人口創出で地域内外資源をフル活用した地域づくりを進めるため、地域にゆかりのある人とのネットワーク構築を目指し「といかん・ふるさと同窓会（仮称）」の取組を進める

## 2. 目標・ねらい

地域づくり推進の応援団や地域の担い手獲得によって地域を元気にするため、都市部と問寒別地区との相互交流を深め地域活性化を進める（※関連政策「地方創生2.0」）

- ・ふるさとへの思いを高め、交流機会創出で応援団（ファンクラブ）形成（ふるさと納税、ふるさと住民、相互交流等）
- ・できるときに、地域の担い手のお手伝い！
- ・ゆとりもできたし、Uターンや二地域居住！
- ・地域おこし協力隊でふるさと貢献！（協力隊の定着性確保）
- ・都市部で問寒別地区をPRしてもらい関係人口創出拡大

対象者

- ・問寒別地区出身者
- ・問寒別地区に在住したことのある者
- ・問寒別地区を好きでたまらない者

## 3. 主な取組検討例

### ①といかん・ふるさと同窓会（仮称）開催

年1回程度、といかんファンが集い、地域の現状と対策等の町長報告、活性化アイデア等を話し合い旧交を温める

- ・地域特産品、ふるさと納税、Uターン体験、ふるさと住民等PR
- ・地域住民語り部特派員派遣（1回2人程度相互交流）

### ②ふるさとレター発行等

地域情報を発信してふるさとへの思いを高める

- ・ふるさとおたより定期便、地域かわら版送付、SNS等日常発信
- ・クラブ会員チャンネルでリクエスト動画、行事動画等配信

### ③ふるさと探訪ツアー等

希望者を募り、ふるさと問寒別のガイドツアーや地域交流会開催

- ・移住体験住宅を活用し、ツアー、地域行事等助っ人参加

### 令和7年度取組事業

#### ①「といかん・ふるさと同窓会（仮称）in東京」開催

○日程：11月3日（月・祝）14～16時

○場所：東京交通会館 第一会議室B

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10-1

○対象：といかん出身者、居住経験者、といかんラブな方

○内容（予定）

・13:30：開場

・14:00：開会 ふるさと報告：幌延町長

地域づくりの取組紹介：役場スタッフ

といかん動画

意見交換・交流会（特産品等試食・試飲）など

・16:00：閉会

・夜：希望者による懇親会（別会場）



# 問寒別地区を支える地域おこし協力隊募集！

このへん！！

北海道 幌延町

地域おこし協力隊募集

「JOIN 移住・交流&地域おこしフェア2025」

11月 22日(土)  
23日(日)

東京ビッグサイト 東7ホール

最大3年、1年からでもOK！  
休学してちょっと違う経験に  
定年後の第二の人生に  
北海道での生活はいかがですか？

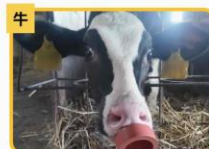
幌延町の  
ノベルティグッズ  
がもらえる！

問寒別地区で活動してくれる地域おこし協力隊を募集しています！！

- ・赴任旅費（引っ越し費用相当）支給あり
- ・住宅料全額支給（電気・水道料などは自己負担）
- ・2泊3日のおためし（旅費宿泊費助成あり、行き帰り行程自由、日程随時）

まずは旅行がてら遊びに来てください！！  
フェア当日の予約も可能です

## 問寒別地区の見どころ



## 【応募に関すること】

北海道天塩郡幌延町字問寒別35番地

NPO法人 ミナといかん

01632-9-7067

mailing-list@minatoikan.jp

instagram



## 【その他協力隊(集落支援)に関すること】

北海道天塩郡幌延町宮園町1番地1

幌延町役場 住民生活課(地域対策係) 町HP

01632-5-1112 (内線155)

chitai@town.horonobe.lg.jp



## <問寒別地区・集落支援分野>

○募集人数:2名

○活動概要

- ・NPO法人ミナといかんの運営
- ・住民とのふれあい
- ・集落機能維持、地域行事サポート
- ・住民の生活、生きがいサポート
- ・自身の特技で地域を元気にする活動

○引越し費用相当支給

○住宅料全額支給

○2泊以上のおためし体験可

- ・旅費:4万円まで助成(1/2)
- ・宿泊:全額助成

## 【募集イベント出展】

○JOIN 移住・交流

&地域おこしフェア2025

- ・11/23(土)・24日(日)
- ・東京ビッグサイト